

**令和5年度  
あさぎり町議会  
第2回会議(6月定例会)**

**所 信 表 明**



**令和5年6月9日**

**あさぎり町長 北口 俊朗**

## ■はじめに

本日、令和5年度あさぎり町議会第2回会議が開催されるにあたり、私の町政推進にあたっての基本的な考え方や所信の一端を申し上げ、議員各位並びに町民の皆さまのご理解ご協力をお願いするものであります。

私は、去る4月23日に行われた町長選挙におきまして、町民の皆様のご支援をいただき、あさぎり町長に就任しました。

改めて、課せられた使命と責任の重さを実感し、町民の皆様のご期待に応えるべく、今後の町政運営に全身全霊をささげ、この職責を全うしていく所存です。

現在の社会情勢は、ウクライナ危機以降、エネルギー・原材料価格の上昇や円安により、物価が高騰しました。これにより、食料品や生活必需品なども価格が上昇し、日常生活に大きな影響を及ぼしています。また、人口減少と少子高齢化の進行が及ぼす影響として、担い手不足問題、さらに令和2年7月豪雨、昨年の台風14号の災害復旧、防災対策や急速に進むDX(デジタルトランスフォーメーション)、脱炭素への対応も喫緊の課題となっています。これらの課題に町は、国・県を含めた様々な機関や団体と共有し、連携しながら町民の生活に寄り添った対応をしていく必要があります。

あさぎり町は5か町村が合併して満20年が経過しました。

これまで、中学校の統合、財産区解散、保育所の民営化など大きな改革が実施されました。そして、現在は公共施設等総合管理計画により、老朽化が著しい施設が将来への負の遺産とならないよう、合併特例債の活用期限が迫る中で、それらの施設の解体除去工事が進められています。また、第二庁舎建設も進んでいますが、今後も行財政改革を推進しながら、行政運営の効率化を図っていかなくてはなりません。

地方自治体の一番の存在意義は、そこに住む人々の生活を支えることです。そのために、具体的には、5つの項目を重点項目として位置づけて実現を目指します。

## ■5つの重点項目の実現

1つ目は、「子育て世代の経済的負担の軽減」です。

経済的負担や心理的・肉体的負担を軽減し、子育てと仕事を両立しやすい環境を整える取り組みが必要です。これは、国も次元の異なる少子化対策という支援拡充を打ち出して議論が進められています。

そこで、小中学校の給食費と保育料を無償化し、また、子ども医療費助成事業を改善し、窓口負担をなくします。

子どもたちは次代を担うかけがえのない存在です。子どもたちが夢と希望を持ち健やかに育つことは、あさぎり町の未来であり希望です。子どもの健全な成育を実現するために、学ぶ環境や費用面の援助、情報やサービスを提供していきます。

2つ目は、「**高齢者が元気になる町づくり**」です。

あさぎり町は65歳以上の年齢の方が占める割合が38.8%と全国平均の29%を大きく上回っています。高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくには、生活支援サービスの充実と高齢者自身の社会参加が必要であり、元気な高齢者が社会支援の担い手として能力を活かせる場が増えれば、地域の活動も活性化し、より住みよい町をつくることにもつながります。運転免許証を返納された高齢者等への交通手段支援策の見直しを行います。また、買い物、配食、見守りなどの生活支援サービスの向上を図ります。

3つ目は「**安心・安全に暮らすことができる町づくり**」です。

令和2年7月豪雨や昨年の台風14号と近年は予想もつかない災害に見舞われています。あさぎり町においても日常生活ができない状況に陥る事

態になりました。改めて日ごろからの備えが重要であると痛感しています。  
また、コロナ禍により人との距離を取ることが求められ、各種行事が中止となり、地域の人と人とのつながりが希薄になってきています。

そこで、災害に強い上水道の整備や生活交通の確保など、住み慣れた地域で安心して暮らすために必要な機能整備を進め、生活基盤や地域の防災力の向上を図ります。また、地域医療の確保のため、公立多良木病院の健全運営を支援し、球磨人吉管内の消防組合の着実な広域化を推進することにより、救急医療体制の充実を図ります。

4つ目は「**地域の産業が元気になる町づくり**」です。

現在の社会情勢は、物価高騰、エネルギー高と農林商工の事業者の方が厳しい状況に追い込まれています。さらに多くの産業業種において労働力不足が深刻化しています。特に農業においては、高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加することで、農地は地域の治水や環境システムの維持といった多面的な役割を果たせなくなってきています。

そこで急激な物価高騰などに迅速に対応し、農林商工業の担い手や従事者の確保によって、地域産業の維持継続ができる環境を守ります。また、担い手、新規就農者、起業者への支援、農業支援センターの拡充等を実

施していきます。また、デジタル社会の進展に対応するため、インターネット環境の改善充実を図りつつ、地域社会のデジタル化を推進することで地域課題の解決を目指します。

5つ目は、「**未来につながる健全な財政運営**」です。

今後想定される上水道整備事業や物価高騰など財政需要の高まりも想定され、選択と集中による事業の優先順位を図りながら、引き続き持続可能な財政運営を行ってまいります。

この他にも、自治体DXの考えを導入し、行政のデジタル化を図ることで住民サービスの充実に繋げていきます。また、国連が採択した2030年までの持続可能な開発目標SDGsについても、社会課題の解決に貢献すべく、行財政運営や住民生活に取り込んでいくように努めてまいります。特にSDGsにも資する取り組みのうち、カーボンニュートラルについては、「脱炭素先行地域」として、実行計画の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

これまでの良いものは継承して、変えるべきところは改善していきますが、皆様の共感を頂かないと実現できないことでもあります。ですから、皆様と

の信頼関係は不可欠であり最も大切だと思っています。皆様の声に真摯に向き合い、心が通じ合う行政運営を目指していきます。

## ■むすびに

以上、町長就任にあたりまして、私の町政に対する所信の一端を申し上げましたが、町が抱える諸問題を迅速かつ的確に対応しながら、町民の生活が向上できるように、そして、子どもたちが希望を持てるような魅力的なあさぎり町を創造するため、強い決意をもって取り組んでまいりますので、町民の皆様並びに議員各位におかれましては、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。